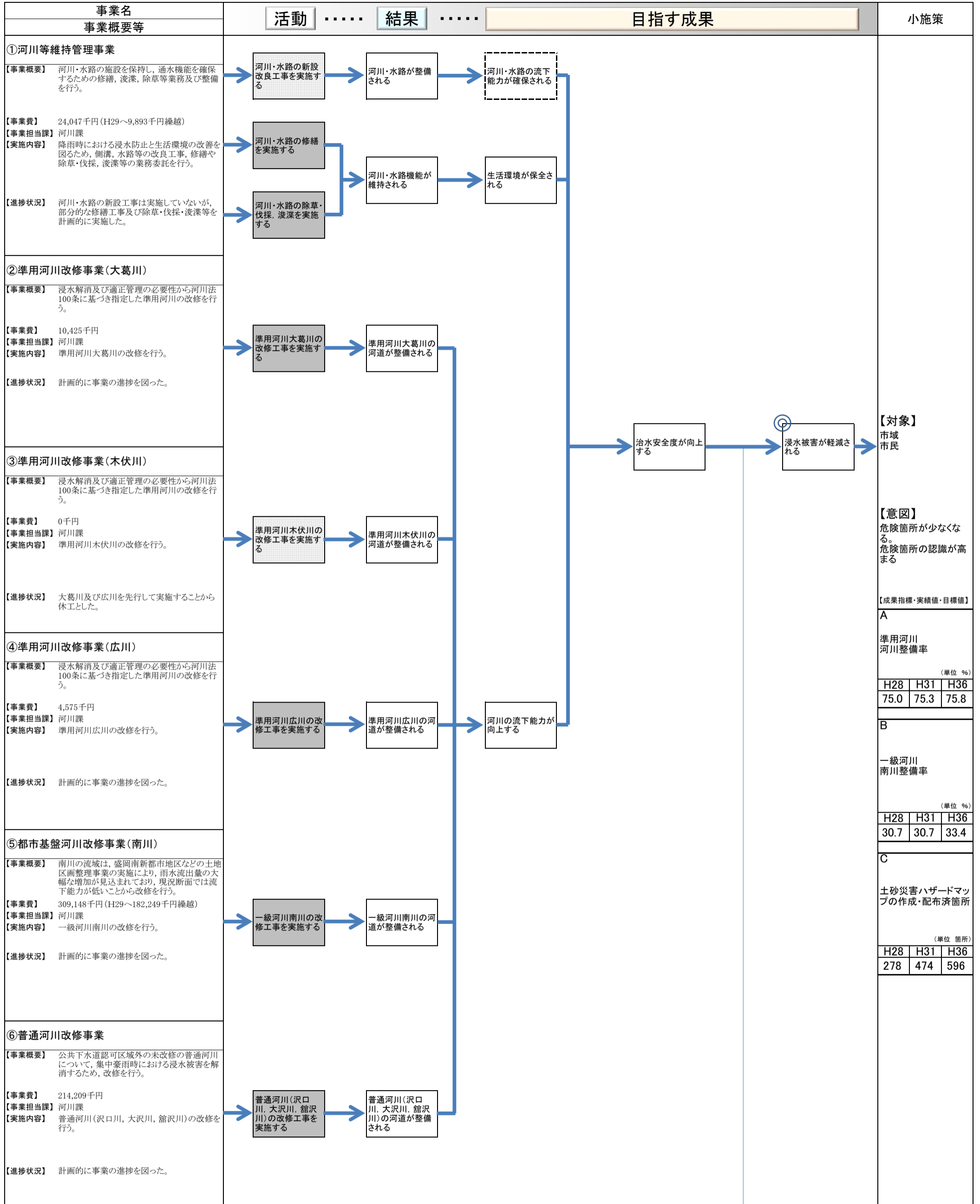


【別紙】
ロジックモデルシート(平成28年度実績評価)

施策コード	8	施策名	安全・安心な暮らしの確保	小施策 主管課名	河川課
小施策コード	8-1	小施策名	危険箇所の解消		



事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	小施策
⑦水路占用事務 【事業概要】 準用河川・水路の機能の維持及び利用の適正化を図るため、条例等に基づき占用物件の審査及び許可を行う。 【事業費】 【事業担当課】 河川課 【実施内容】 占用許可申請 H27 117件 H26 141件 H25 102件 H24 110件 【進捗状況】 占用許可申請 102件	準用河川・水路の 占用物件の審査及 び許可を行う	準用河川・水路機能 を阻害しない占有 物件が設置される 占有物件の位置、 構造等が把握でき る	準用河川・水路の 機能の維持及び利 用の適正化が図ら れる 準用河川・水路が 適正に機能する	【対象】 市域 市民 【意図】 危険箇所が少なくな る。 危険箇所の認識が高 まる 【成果指標・実績値・目標値】
⑧河川台帳整備事業 【事業概要】 河川法で定められた準用河川の河川台帳整備を行うもの。 【事業費】 0千円 【事業担当課】 河川課 【実施内容】 (H28未実施) 準用河川指定延長 L=27.457km 河川台帳整備済み延長 L=10.290km 【進捗状況】 予算配当が無く未実施。	準用河川の河川台 帳を整備する	河川施設の構造や 管理地境界が明確 になり、適正な河 川管理ができる	地域住民からの施 設管理に係る要望 や、災害時の初動 に適切な対応が可 能となる 準用河川が適切に 管理される	【成果指標・実績値・目標値】 A 準用河川 河川整備率 (単位 %) H28 H31 H36 75.0 75.3 75.8 B 一級河川 南川整備率 (単位 %) H28 H31 H36 30.7 30.7 33.4
⑨急傾斜地崩壊対策事業 【事業概要】 市内には急傾斜地崩壊危険箇所が218箇所あり、岩手県が主体となって実施する急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を市が負担する。 【事業費】 1,413千円 (H29～9,000千円繰越) 【事業担当課】 河川課 【実施内容】 県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担する。 【進捗状況】 岩手県において、つなぎ地区、山岸一丁目地区において詳細設計等を実施し、事業の進捗を図っている。	岩手県に負担金を 支出する 土砂災害ハザード マップを作成・配布 する	岩手県が急傾斜地 崩壊対策事業を実 施する 危険箇所と避難経 路が明確になる	急傾斜地崩壊対策 施設が整備される 急傾斜地の崩壊が 防止される 土砂災害時の円滑 な避難等が行われ る	土砂災害被害が軽 減される 土砂災害ハザードマ ップの作成・配布済箇所 (単位 箇所) H28 H31 H36 278 474 596